

稲用祭り公演

石見神楽部は、令和8年4月19日（日）に大田市長久町の稲用八幡宮で開催された稲用祭りで上演して参りました。いつもたいへんお世話になっている土江子ども神楽団さんからお声がけをいただいて今回の上演の運びとなりました。

上演演目は「道返し（ちがえし）」でした。「神」対「鬼」の戦いを演じる演目はいくつもありますが、この演目は鬼が戦いの末に改心するという石見神楽では珍しい演目です。神役も鬼役も和解後には面をはずして素顔で喜びの舞を舞います。来た道を引き返すことから演目名がつけられているようです。

今回は今年度初の公演でした。この春の新入部員5名も初めて同行し、総勢10名を超える部員での公演となりました。今回は新入部員たちは奏楽や舞で表に出ることはありませんでしたが、道具や衣裳運び・裏方や記録係などの仕事を行いました。この経験を通して、今後の公演では、より考え、『一步前へ出る』行動ができるようになると思います。

引き続き邇摩高校石見神楽部へのご声援をよろしく申し上げます。

